

経理・税務



●3月決算法人の確定申告と納税

3月決算法人では、法人税と消費税の確定申告・納付の時期です。

ほかにも、事業年度終了後2か月以内に申告・納付しなければならぬ税金として、法人事業税・法人住民税などがあります。

決算事務の「総仕上げ」となる業務なので、確実に申告・納付を行ないましょう。

また、決算後の配当金の支払いに関しても、税務署に提出する支払調書の作成、配当金からの源泉徴収・納付事務があります。

●個人住民税の特別徴収の準備

個人住民税の特別徴収は、納税義務のある社員に代わって、4月1日現在の給与支払者（特別徴収義務者）が、毎月の給与から税額分を差し引き、翌月10日までに納付する制度です。税額は毎年6月に切り替わり、翌年5月まで年12回の均等割額です。端数は6月分で調整しますが、計算の必要はありません。

通常、各社員の住所地の市区町村か

ら送られてくる納税通知書に従って納付します。

徴収額は、給与台帳や給与計算表に転記しておくとともに、1部を社員本人に交付します。

●固定資産税（都市計画税）の2024年度第1期分の納付

固定資産（土地・家屋・償却資産）は、国の評価基準にもとづいた「適正な価額」から課税額が算定されます。

納付時期、価格修正通知などの扱いは市町村によって異なりますが、多くは、4月末から5月末の間に、第1期分の納付期限を設けています。

都市計画税は、原則、市街化区域内にある土地・家屋にかけられる税金です。償却資産は課税対象になりません。固定資産税と合わせて納付します。

●自動車税・軽自動車税の納付

自動車税・軽自動車税は、4月1日現在の車の所有者に対して課される税金です。都道府県または市区町村から送られてくる納税通知書に従って、期限までに納付します。

4月2日以降に車を売却または譲渡した場合でも、納税通知書は4月1日現在の所有者に送付されます。

●9月決算法人の中間申告

9月決算法人は、法人税の中間申告の時期です。

この中間申告には、前年度の法人税額の2分の1を申告・納税する予定申告と、仮決算による申告の2つの方法があります。

仮決算した場合の法人税額が前期基準額（前事業年度の確定法人税額の2分の1）を超える場合は予定申告のみとなりますが、選択可能であれば、自社の業績や事務負担を勘案のうえ、有利な方法を選択してください。

●定額減税の実施

納税者とその同一生計配偶者および扶養親族1人につき、所得税額3万円と個人住民税額1万円が控除されます。6月から減税事務が始まるので、控除の方法を確認しておきましょう。詳しくは、26ページを参照してください。

●令和6年能登半島地震に係る各種特例措置

雇用調整助成金の受給要件の緩和、国税の納付等の期限延長、雑損控除・災害減免法が適用される所得の前倒しなど、各種措置が取られています。

人事・労務



●メンタルヘルス不調者のフォロー

春に入社した新入社員は、この時

5月の事務ごよみ

期、通勤や仕事に慣れてきて気持ちにゆとりが生まれてくる一方で、社会人としての悩みや不満を抱えるようになりがちです。

転勤や異動のあった社員は、新しい環境に適応できず、心身に不調をきたす場合があります。ストレスによりメンタルヘルスに不調をきたし、うつ症状などに陥る人も少なくありません。

いわゆる「5月病」は、ゴールデンウィークを過ぎた頃に症状が現われることが多いので、勤務態度や健康状態などに変化が見られる社員には声がけをするなど、早めにフォローしていきましよう。

アドバイスを求められたときは積極的に相談に乗るようにしてください。

●賃上げに伴う初任給の確定

4月に賃上げを行なった企業では、通常、その結果を踏まえて新入社員の初任給に反映させます。

賃上げが確定した段階で、在籍者の給与の改定とともに、初任給の見直しも忘れないようにしましよう。

●2025年新卒者の採用活動

2025年3月卒業・修了予定者の採用を計画している企業では、採用人数、求める人材像などを検討し、広報活動を本格化させる時期です。

政府が要請する就職・採用活動の日

程では、広報活動の開始が3月1日以降、採用選考活動の開始が6月1日以降としています。

人材不足に悩む企業は他企業の動向を注視しながら、選考時期や募集・選考方法を検討し、戦略的に採用活動を進めていきたいところです。

●夏季賞与の検討準備

夏季賞与の支給を予定している企業は、支給額の検討を始めます。

経済情勢や賃金相場など情報の入手先としては、業界団体・商工会議所・金融機関、各種紙誌の調査資料などがあります。

情報収集と並行して、人事考課や査定 の準備も進めます。

●定期健康診断の実施

事業者は、常時雇用する労働者に対して、年に1回以上、医師による健康診断を実施することが義務づけられています（「特定業務」に従事する労働者の場合は半年に1回以上の実施が義務づけられています）。

これから健康診断を予定している事業所では、医師・診療機関などの最終調整を行ないます。あわせて、実施内容を社内に周知徹底しましよう。

一般健康診断の結果は、「健康診断個人票」に記載します。健康診断個人票は5年間の保存義務があります。

また、常時50人以上の労働者を雇用する事業者は、「定期健康診断結果報告書」を、所轄の労働基準監督署に遅滞なく提出しなければなりませんので注意しましよう。

●労働者の安全と健康への配慮

労働安全衛生法は、職場における労働者の安全と健康を確保し、快適な職場環境の形成を促進するために、企業にさまざまな義務を課しています。

定期健康診断やストレスチェックの結果も踏まえて、社員の安全と健康の確保にこれまで以上に配慮していきたいところです。

●障害者雇用納付金の申告と納付

常時雇用者数が101人以上の事業主は、雇用障害者数が法定雇用率を下回る場合、未達成1人につき月5万円の障害者雇用納付金を納めなければなりません。

なお、法定雇用率は、2024年4月1日より民間企業で2・5%、対象事業主の範囲は従業員数40・0人以上となつています。

毎年4月から翌年3月までを1年度とし、月初の状況にもとづいて、各月の金額を積算したものが年間の納付額となります。2023年度分の納付金の申告・納付期限は5月15日です。

また、納付金額が100万円以上の

場合は、3回に分けて延納することも可能です（第1期…5月15日、第2期…7月31日、第3期…12月2日）。

法定雇用率を超えている場合は調整金等が支給されます。対象事業主で基準を満たしていない場合は、早めに手当てをしておきましょう。

●職場の子育て支援制度の整備

こども家庭庁は、こどもや家庭・こどもの健やかな成長について国民全体で考えることを目的に、5月5日の「こどもの日」から1週間を「こどもまんなか児童福祉週間」と定め、さまざまな事業や行事を展開しています。令和6年度の標語は「すきなことどんどんふやして おおきくなあれ」です。

働き方改革が進むなか、育児休業制度等の整備・意識改革など、自社の子育て支援を見直すにもよい時期です。

総務・法務



●3月決算法人の定時株主総会

3月決算法人では、申告・納税に際して、あらかじめ取締役会や株主総会で決算の承認を得なくてはなりません。役員の選任・退任など、取締役会

などの決議を要する場合もあります。

株主総会を開催するには、監査役による決算書類の監査、招集通知の発送など、会社法や定款などで定められた手続きのほか、会場の手配や当日配付する資料の準備も必要です。

事前に立てたスケジュールや法令などに従って、モレなく進めましょう。

●役員改選等に伴う登記手続き

定時株主総会において、役員の改選等があった場合は、変更の日から2週間以内に變更登記を行なう必要があります。司法書士等の専門家に依頼するのが一般的ですが、経費節減のために自社で行なう企業もあるようです。

●冷房器具・設備の点検・整備

5月に入ると、地域によっては、冷房が必要な日も出てきます。

冷房器具・設備の点検・整備を済ませ、必要なときにすぐに使えるように準備しておきたいところです。

●IT化の推進

情報通信の普及・振興を目的として、総務省は例年5月15日～6月15日を「情報通信月間」とし、情報通信の普及・振興を図って、全国各地でさまざまな関連行事が行なわれます。

ことしのテーマは「デジタルで暮らしを変える 世界を変える」です。近年では、DX推進・デジタル人材

育成のために投資するのが、企業の標準となっています。情報通信技術は日進月歩です。常に最新の動向に気を配るようにしましょう。

●暑中見舞い・中元の準備

暑中見舞いは、小暑（ことしは7月6日）から立秋前日（ことしは8月6日）までに送るようにしましょう。

取引先などに暑中見舞いを送る企業は、部署ごとの必要枚数を取りまとめ購入し、デザインや文面などを決めます。

あわせて中元を贈る企業では、届け先のリストアップや住所等の確認などの準備を始めます。

●衣替えの準備

夏用の事務服や作業服を社員に支給する企業は、数量・サイズのチェックと補充、新入社員分の手配などを早めに済ませておきましょう。

来月の計画を立てるために

- ▽賞与を支給する事業所は、源泉所得税・保険料徴収事務などもあります
- ▽2024年度の労働保険の年度更新手続きが始まります（7月10日まで）
- ▽社会保険の標準報酬月額変更届の提出の可否をチェックします
- ▽個人住民税の特別徴収税額について納期の特例適用者は納付期限です





民族の音楽 ランナー音楽

タイ北部のチェンマイは、かつてのランナー王朝の文化を継承している。弦楽器のスンは、トレモロ（1音を小刻みに連続させる奏法）をよく使う。サローという

胡弓のような楽器は、弓を構え本体をくるくる回して奏でる。タイの伝統音楽は1オクターブを7音に分け、独特の雰囲気醸し出す。（切絵・文＝前田尋）

◆第39回しものせき海峡まつり

日時：5月2日～4日

場所：山口県下関市

源平合戦で滅びた平家を偲ぶ祭りや、名産のフグを使用したふく鍋・ふく唐揚げの提供などで賑わう。

◆第21回 総務・経理・人事 Week 春

日時：5月8日～10日

場所：東京ビッグサイト

総務サービス EXPO、HR EXPO、法務・知財 EXPO など9つの専門展からなる。バックオフィス担当者や広報担当者、経営者のための展示会。

◆鵜飼開き

日時：5月11日

場所：岐阜県岐阜市

1300年以上の伝統を誇る長良川の鵜飼漁の開幕を祝して、花火の打上げなどで華やかに開催される。鵜飼は10月15日まで実施される。

◆イベントツールウェストジャパン 2024

日時：5月15日～16日

場所：大阪南港 ATC ホール

施工・レンタル・販促グッズ・装飾・音響・デジタルサイネージなど、イベント・販促業界のための展示会。

◆第85回黒船祭

日時：5月17日～19日

場所：静岡県下田市

ペリー提督率いる黒船来航と開国を記念する祭り。海上自衛隊や米海軍も出演するパレードや、海上花火大会などが催される。

◆第3回デジタル人材育成支援 EXPO 春

日時：5月22日～24日

場所：東京ビッグサイト

社員のリスキリングや DX の推進、ITリテラシー向上のためのサービスや商品が展示される。



Event guide